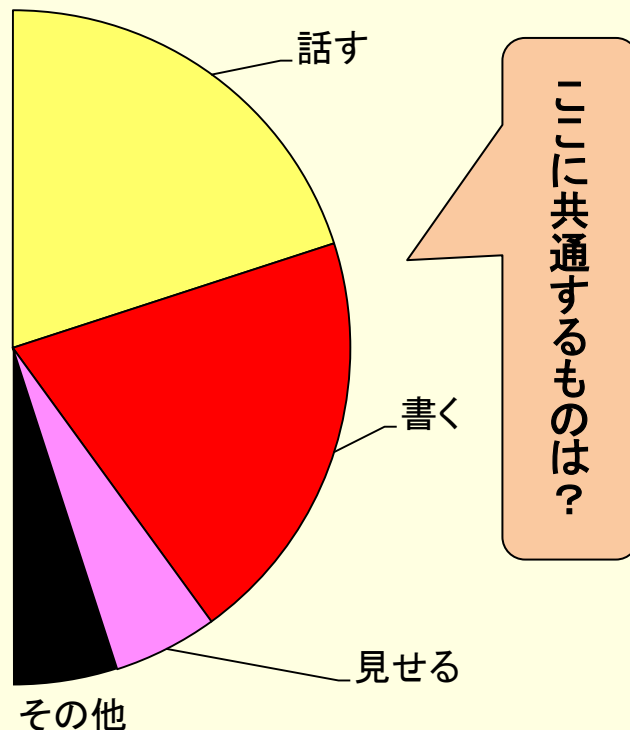


ロジカル コミュニケーション演習

第1回 「コミュニケーションの構造」

コミュニケーションが成立つために



例題：

「当社(トヨタ自動車)への志望理由を述べよ」への回答。

幼少時からエンジニアとして活躍すべく貴社にエントリー致しました。ホームページで世界の自動車技術の発展と自動車文化や社会貢献に寄与する貴社のビジョン、社員を大切にす
る気風、特に教育面の充実ぶりにたいへん魅力を感じています。

ぜひ貴社で働いてみたいと強い思いを抱きエントリーしました。

努力と根性は誰にも負けません。新しいことを積極的に吸収し、成長を遂げたく思います。

「論理」を考える例題

1. アフリカの子どもたちを守るために、ポリオワクチンを寄付する運動は正義だ。
2. 「ゆりかごから墓場まで」という高福祉国家を実現したイギリスは弱者にやさしい国だ。
3. ブラック企業は存在してはいけない。

コミュニケーションの3原則

1. 目的設定すること

「伝える」ためにキーメッセージを絞る
目的(ゴール)の明確化

常に「目的意識」をもって臨むことで論理的な道筋が作れる

2. 「相手」目線を持つこと

コミュニケーションには必ず相手がいる
傾聴で相手も巻き込む

ターゲットは誰？

3. ロジックが成り立つこと

理解の共通化のため、わかりやすく
正解志向より利益(メリット)志向

「正しい」だけでは通じない

これを常に念頭に置けば
ロジカルなコミュニケーション
が出来る

戦略思考

「戦争に勝つにはどうするか」

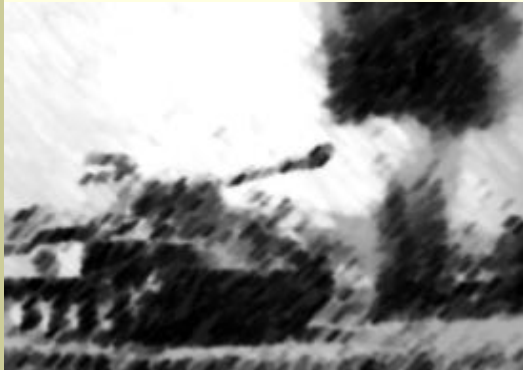
古典の教え

クラウゼヴィッツ

「戦争は目的達成のための手段」

殺傷や破壊が目的ではない

この本質を見抜く
思考
=戦略思考



目標設定

何を達成したいのか

いつ(いつまでに)

どこで

いくらで(負荷・負担・費用・エネルギー…)

次回のロジカルコミュニケーションは
10/22(水) 同く13:20～ H112